

(事後評価)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

代表機関：北海道大学（総括責任者：竇金 清博）

共同実施機関：室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、日東電工株式会社、
株式会社アミノアップ

取組の概要

北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワークを設置し、①研究継続のための両立支援の拡充等研究環境のさらなる改善や意識改革、②リーダー育成のための共同研究助成や異分野融合の推進、③上位職女性研究者へのシャドウイング研修等を通じた自立と飛躍のためのキャリア開発、④経営陣との対話等によるマネジメント力の向上、⑤上位職・管理職登用促進に向けた組織の意識改革、⑥博士のキャリアマネジメント促進と女性研究者のすそ野拡大に取り組む。上記①～⑥に連携機関が協働して取組むことで、北海道の研究を活性化し、ダイバーシティ推進のための変革をリードするイノベーションコア人材を育成する。また、広大な北海道を牽引するために、各機関の特徴と強みを活かし、北海道の各地域（室蘭・帯広・北見）や分野（バイオ産業、産学連携）にダイバーシティ研究環境を波及させ、多様な人材が様々な場で活躍できる北海道地域に向けてさらなる進化を目指す。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

北海道の広範な地域に立地する、理学・工学・農学系分野の学部を擁する4大学と2企業が連携し、女性研究者・技術者がイノベーションコア人材として飛躍できるダイバーシティ研究環境の実現に取り組み、一定の成果を挙げたことは評価できる。オンラインツールを活用した、「北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク（KNIT）」を通じた6機関の連携基盤の形成、研究交流会「異分野 meetup」等の開催は、女性研究者・技術者の活躍を促進する上で地理的制約を乗り越える有効な手法としてよく機能しており評価できる。支援を受けた女性研究者・技術者の研究業績や昇任実績からは研究力向上とキャリア支援の成果が明確であり、また、「KNIT 共同研究助成」を通じた女性研究リーダーの育成は上位職女性リーダー層の増加に繋がっており、量的・質的両面で成果の進展が見られ評価できる。一方、女性研究者・技術者の在職比率、採用比率は増加傾向にあるものの、その目標は達成できていないものも多く、女性教員のより積極的な採用、企業への波及効果の促進など、目標達成へ向け継続的・発展的な取組の実施を期待する。

- ・ **目標達成度**：連携する5機関で女性研究者・技術者の在職比率、採用比率は上昇しており、女性研究者・技術者数は増加傾向にある。しかしながら、代表機関では、女性教員数及び女性教員比率が目標を大幅に下回っており、連携する他機関においても未達の目標が多い。今後は目

標達成へ向け、機関の長の主導による実効性の高い取組を実施することを期待する。

- **取組**：コロナ禍にも柔軟に対応し、オンラインツールを活用した研究交流会「異分野 meetup」を開催するとともに、「KNIT 共同研究助成」を通じて女性研究者を研究代表とする共同研究を支援し、イノベーションコア人材の育成に取り組んだことは評価できる。また、代表機関が実施する「女性限定公募」を共同実施機関へ普及させ、女性研究者の積極的な採用を進めたことは評価できる。
- **取組の成果**：女性研究者の科研費採択率が向上し男性研究者の採択率を上回って推移し、また、女性研究者による国際的にも注目度の高い研究成果の創出などの実績が挙がり、イノベーションコア人材の育成が順調に進められたことは評価できる。事業の支援を受けた 91 名の女性研究者の内、教授への昇任 12 名を含め 27 名が既に昇任を果たしており、今後の更なる上位職登用が期待できる。
- **実施体制**：北海道の広範な地域に立地する 6 機関が、オンラインツールを活用した、各機関の理事、副学長、実施責任者等から成る事業の意思決定組織である「北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク（KNIT）推進会議」と各機関の実務者から成る「業務担当者会議」を設置し、執行部のコミットメントと実務者の機動力を両立させる体制を構築したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：本事業で構築した「北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク（KNIT）」は、「全国ダイバーシティネットワーク組織 北海道ブロック」として継続され、これまでの各種取組を継続して実施しており、さらにネットワーク参画機関を拡充する計画であり評価できる。